保 証 書

保証期間内に、お買い上げいただいた本製品の各部品に材料・製造上の不具合があり、これを弊社が認めた場合はこの保証書に従い当該部品を交換・無償修理することを保証いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、製品と本書をご準備の上、総販売元に修理をご依頼ください。

1. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
2. 出張修理はいたしません。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 保証期間内でも次のような場合は有償修理となります。
 （1）使用上の誤り、または改造、純正部品以外の使用や不当な保管・修理による故障または損傷
 （2）お買い上げ後の落下、輸送などによる故障または損傷
 （3）火災及び天災地変等による故障または損傷
 （4）取扱説明書に示す保守整備を行わなかった場合
 （5）故意または過失による本取扱説明書に示す以外の使用
 （6）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
5. ボンベ等の消耗品は有償交換となります。

品名	津波及び水難事故対策用リュック一体型ライフジャケット ツナガード 2014年モデル [TG-A1R / TG-A1T]
保証期間 お買い上げ日から **1年間** （自動膨張装置：お買上げ日から3年間）	※ お買い上げ日　　年　　月　　日
※ お客様	ご住所 お名前　　　　電話 (　　　)　　—
※ 販売店様	ご住所・店名 電話 (　　　)　　—

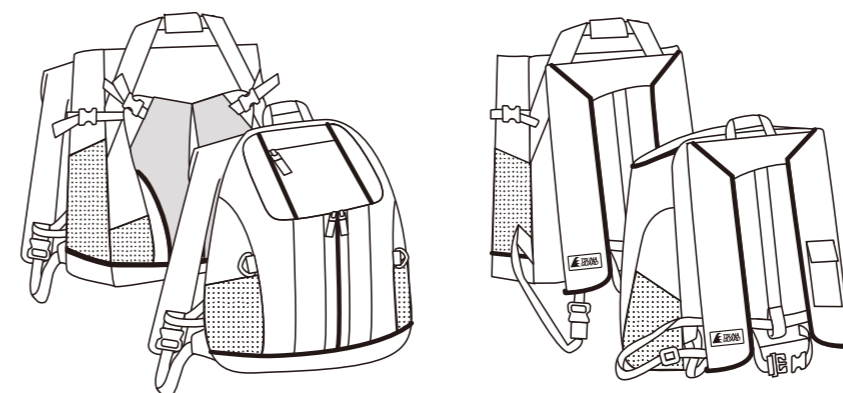
ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお客様にお渡しください。

総販売元：株式会社ネスト・ジャパン　〒540-0004 大阪市中央区玉造2-25-1　TEL：06-6765-1722　FAX：06-6765-1822

津波及び水難事故対策用
リュック一体型ライフジャケット

ツナガード

2014年モデル

成人用 (12歳以上)
[TG-A1R / TG-A1T]

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください。

特許庁　商標・意匠登録済　特許出願済

INDEX 目次

1 安全上の注意点

このたびは津波及び水難事故対策用リュック一体型ライフジャケット TSUNA GUARD ツナガード 2014年モデル [TG-A1R / TG-A1T] をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を長期間安全にご愛用していただくため、ご使用の前に必ず本書をお読みください。本書に示した注意事項は、本製品を正しく安全にご使用いただき、着用者や他の方々への危害を未然に防止するためのものです。よくお読みになってこれらの注意事項を必ずお守りください。また本書はいつでも読めるよう大切に保管してください。

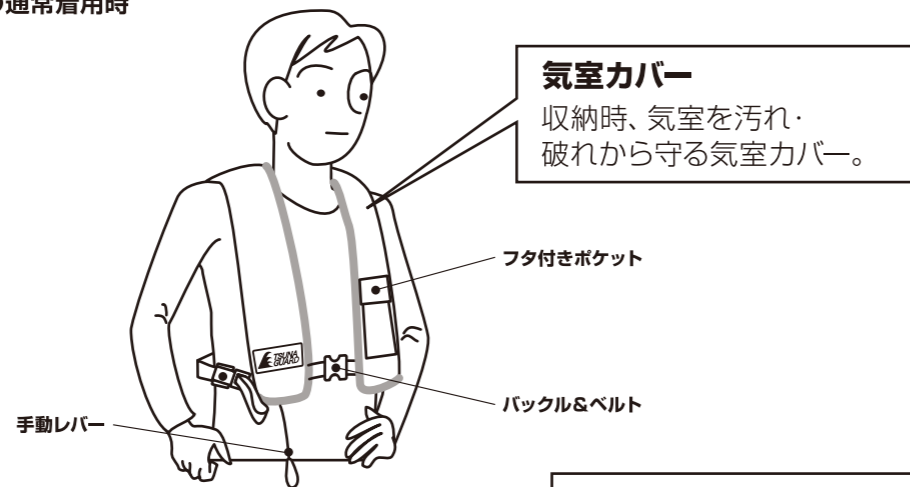
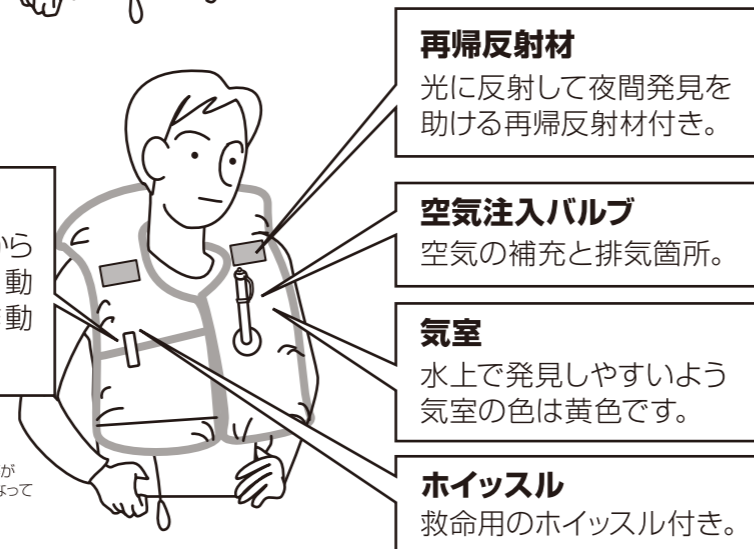
⚠ 危険

- 本製品は12歳以上の方用です。12歳未満のお子様は使用しないでください。
- 本製品の耐荷重は200kgまでです（着用者の体重と荷物を合わせた耐荷重です）。それ以上の重量・容量の荷物を収納すると、救命具として機能しなくなる恐れがあります。
- 本製品の自動膨張装置を一度作動させると、ガスボンベ内のガスがなくなり再使用できません。また、自動膨張装置が水などに濡れると、自動膨張装置内のスプールが水に溶け再使用できません。この場合は総販売元にて交換用ボンベ＆スプールセットを購入し、交換してから使用してください。ガスボンベ・スプール交換については本書P6をご参照ください。
- 着用前、着用中は飲酒しないでください。
- 突起物や鋭利な物（針が付いている物・ボールペン・ハサミ・ブローチなど）は着用前に身体から取り外してください。気室生地を傷つけ、使用できなくなる恐れがあります。
- 本製品は衣服の上に正しく着用してください。衣服の下に着用すると、膨張時に胸を圧迫して呼吸の妨げになり、怪我をする恐れがあります。
- 本製品はジェットスキー・水上スキー・小型ヨットなど、着用者が常に濡れている状況および高速を伴う活動では使用しないでください。
- 本製品は救命具としての機能を優先させるため、リュックの一部分に浸水する生地を使用しています。浸水により機能しなくなる恐れがある精密な機能をもつ製品などの収納はなるべく避けてください。書類や避難グッズなどは付属品の防水ポーチに収納してください。
- 着用前にバックル・各ベルト部が破損していないかを確認してください。落水時に本製品が脱げる恐れがあります。
- 着用前に自動膨張装置が装着されているか、未使用のガスボンベが正しく取り付けられているかを確認してください。
- 着用前に気室が膨らんでいないことを確認してください。膨らんでいる場合は、ガスボンベからガスが漏れている場合があります。この場合、必ず自動膨張装置からガスボンベを外し、ボンベの封板に穴や亀裂がないか確認してください。
- 自動膨張装置を膨張させた状態で水中に飛び込まないでください。救命胴衣が身体から外れる恐れがあり危険です。やむを得ず飛び込む時は、救命胴衣を抱きかかえ、身体にしっかりと固定してから飛び込んでください。
- 水中で救命胴衣を破損させる恐れのある物には近づかないでください。気室を傷つけると気室内のガスが漏れる可能性があります。
- 本製品に強い衝撃を与えたり、落下させないでください。救命具として機能しなくなる恐れがあります。
- 本製品は収納時に必ず点検し、災害時に備えて保管してください。
- 本製品の取扱時は火気厳禁です。火気に近づけると穴が開いて救命具として機能しなくなります。
- 保管場所は高温多湿の場所を避け、オイル・燃料・溶剤などのそばに置かないでください。車両内など高温多湿になる可能性のある場所で保管する場合は、必ずスプールカバーとスプールを外して保管してください。この場合、手動膨張となります。
- 本製品は所有者が責任をもって1年に1回の自主点検を行ってください。ガスボンベ及びスプールはお買い上げ日から３年ごとを目安に交換してください。
- 本製品は絶対に改造しないでください。救命具としての機能を失う恐れがあります。
- 本製品は救命用ですので他の用途に使用しないでください。
- 本製品は落水時に水を感知することにより膨張する仕組みになっておりますが、当該機能はあくまで補助的なものです。海上に脱出する場合や万一落水された場合は、まず手動レバーを引いて膨張させるようお願い申し上げます。

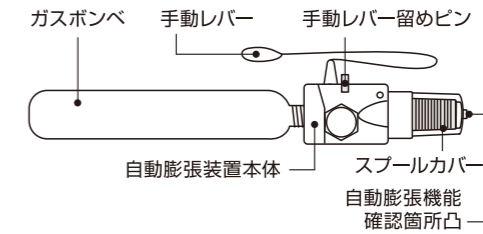
2 製品の概要と構造

●本製品は、落水した時に水を感知し、自動的に膨張して水面に頭部を浮かせるものです。手動レバーを引き、手動で膨張させることもできます。●気室は、ナイロン生地にウレタン加工した引布で作られ、膨張後の浮力は約20kgです。（水中での必要浮力は、一般的に陸上体重の10分の1と言われています）●気室の裏側にはカバー生地があり、収納時、気室の破れ、汚れなどを保護するようになっています。

〈 ライフジャケット［A1型］の構造 〉

気室が膨張した時の浮力は約20kgです。

●自動膨張装置

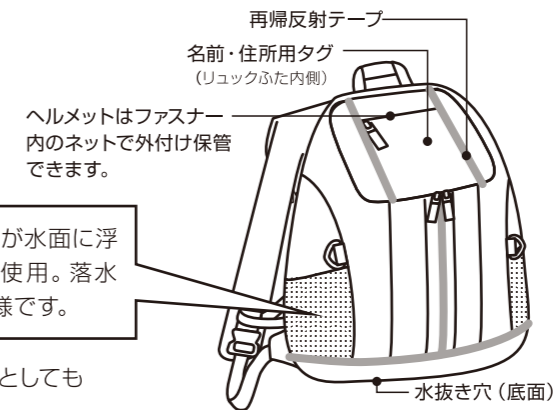
●自動膨張装置内に水が入ると自動的に気室内にガスが充填されます。万が一自動膨張装置が作動しない場合、手動レバーを引くことで自動膨張装置が作動し、気室内にガスが送気され膨張します。

＊自動膨張機能確認箇所凸が凹んでいる場合、自動膨張装置が作動したサインです。

〈 リュックの構造 〉

■スタンダード型リュック【R】

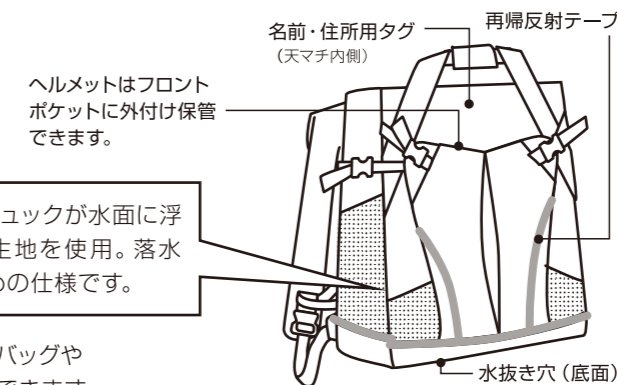
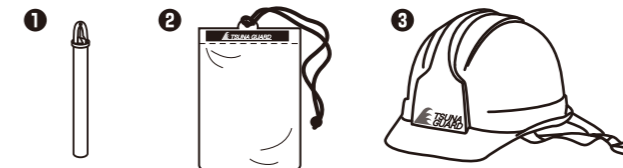
横側のメッシュポケットは、リュックが水面に浮かばないよう浸水性のある生地を使用。落水時、水面に頭部を浮かせるための仕様です。

付属の取替ショルダーで、リュック単体としても使用できます。

再帰反射テープ
名前・住所用タグ（リュックふた内側）
ヘルメットはファスナー内のネットで外付け保管できます。
水抜き穴（底面）

■トート型リュック【T】

横側のメッシュポケットは、リュックが水面に浮かばないよう浸水性のある生地を使用。落水時、水面に頭部を浮かせるための仕様です。

付属の取替ショルダーで、トートバッグやリュック単体として2wayで使用できます。

■ 付属品

❶ ケミカルライト1点（約12時間持続）
❷ 防水ケース1点（B5サイズ）
❸ ヘルメット1個

3 使用方法

初回着用前に、空気注入バルブより息を吹き込み、気室を膨張させてから着用して胴ベルトをサイズ調整し、身体に気室膨張による圧迫感がないか確かめてから、気室内ガスを完全に排気した後収納してください。

《 着用方法 》

① ショルダーパットに両腕を通します。

② 胴ベルトのバックルを留めてください。

③ 胴ベルトは着用後、サイズ調節できるようになっています。ベルトの末端は垂れ下がらないようベルト通しに入れてください。

⚠ 警告

着用前に突起物、鋭利な物（針がついているもの、ボールペン、ハサミ、ブローチなど）は身体から取り外してください。気室生地を傷つけ、使用できなくなる恐れがあります。

《 作動方法 》

本製品は、自動膨張・手動膨張の2種類の方法で膨張します。

●自動膨張

自動膨張装置内が浸水すると、約5～10秒で自動的に膨張します。自動膨張機能確認箇所凸が凹むと、自動膨張装置が作動したサインです。

⚠ 警告　【手動膨張】

万が一自動膨張装置が作動しない場合、手動レバーを強く引っぱります。引っ張ってから約5～10秒で膨張します。

●膨らみが足りない場合 空気注入バルブを使用してください。

気室の膨張が低下してきた場合、空気注入バルブから息を吹き込み、空気を補てんします。

●空気の排気方法

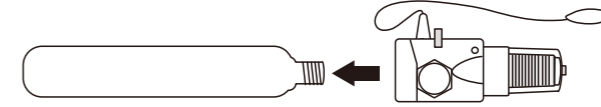
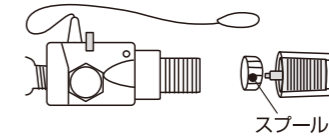
気室内の空気を排気する時は、空気注入バルブのキャップを外し、先の中部分を押しこむと空気が排気されます。

⚠ 危険

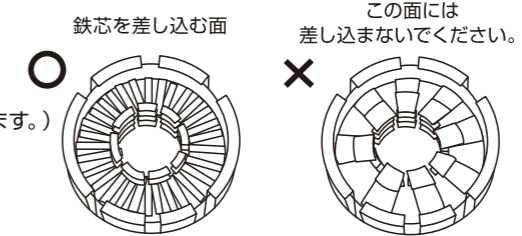
気室を膨張させた後は、気室内の空気を完全に排気してください。気室内に空気が残っていると、この次にガスで膨張させた時、気室が破裂する恐れがあります。

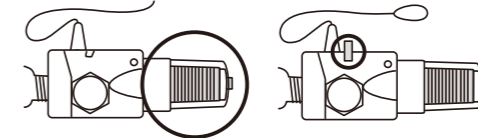
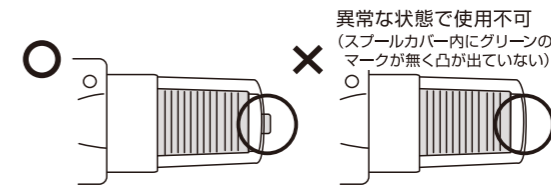
4 作動後の各部品交換方法

《 自動膨張機能作動後のスプールの交換方法 》

① 使用済みのガスボンベを回し取り外します。

② スプールカバーを回して外し使用済みスプール（黄色の丸い部品）を取り外します。

③ 自動膨張装置に付着した、スプールの錠剤の溶け残りを真水で洗浄し、その後陰干しして完全に水気が無くなるまで乾燥させてください。

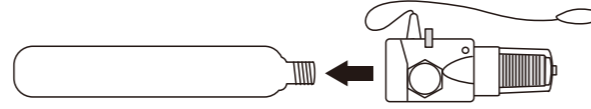
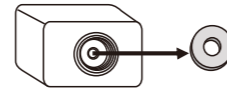
※洗浄後、自動膨張装置のボンベに穴を開ける針部分にサビ止溶剤等を使用することをおすすめします。

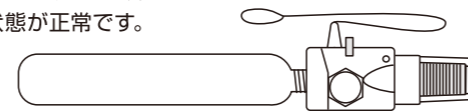
④ 新しいスプールの白い錠剤が見える方にスプールカバーの鉄芯を3mm程度差し込みます。（3mm程度入ると止まります。）

※過度の力で差し込むとスプールが破損しますのでご注意ください。

⑤ スプールを鉄芯に差した状態でスプールカバーを自動膨張装置本体へ取り付け、緑色の留ピンを取り付けます。

⑥ スプールカバー内にグリーンのマークがあり凸が約3mm程度出ていたら、取り付け完了です。

⚠ 注意

●スプール及びガスボンベの両方を交換する際は、最初にスプール、次にガスボンベの順で交換してください。●スプールを交換する時はスプール挿入部分をよく乾燥させてください。水分が残っているとスプールが溶け、自動膨張装置が作動し、ガスが放出される恐れがあります。

《 自動・手動膨張機能作動後のガスボンベの交換方法 》

① 使用済みのガスボンベを
回し取り外します。

② ガスボンベ取り付け内部にある
ゴムパッキンを交換します。

③ 未使用のガスボンベを取り付けます。ねじ込みが少し硬くなったところから、
さらに1/4〜1/2回転ねじ込んでください。ねじ込みが硬くなり、
ボンベのねじ山の凹部分が3カ所見える状態が正常です。

※過度にねじ込むとボンベ底に針が当たり
キズを付けるので注意してください。

◎交換用部品

ガスボンベ（容量33g／重量約147g）

手動レバー留めピン

ゴムパッキン

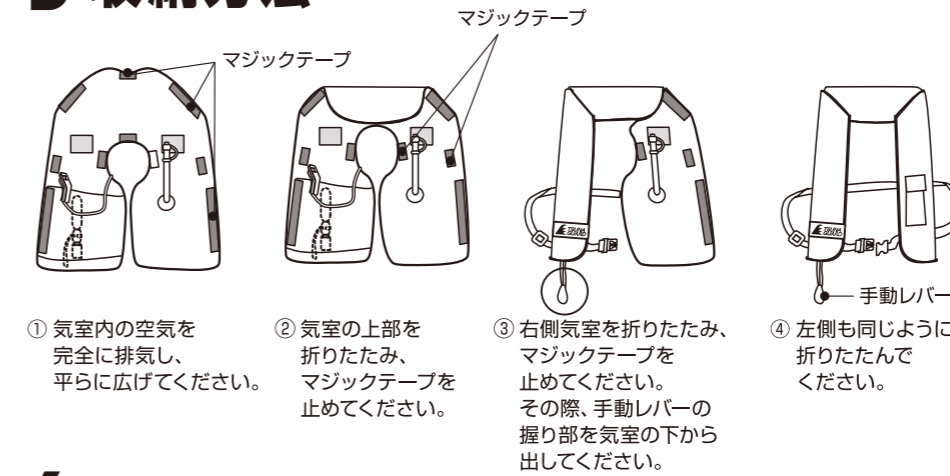
スプール

⚠ 注意

●本製品の使用前には各部品に損傷や劣化がないか確認してください。もし異常が認められた場合、ただちに使用を中止し、総販売元を通じて点検を依頼してください。重大な事故につながる恐れがありますので、そのまま使用することはしないでください。
●ガスボンベ取り付け部内の針が上に出ている状態で新しいガスボンベを取り付けないでください。ガスが放出される恐れがあります。

⚠ 注意

●ガスボンベ及びスプールは必ずTSUNA GUARD専用のものを使用してください。
●ガスボンベ及びスプールはお買い上げ日から３年ごとを目安に交換してください。
（交換用ボンベ&スプールセットは別売3,600円+税 代金引換にてお送りいたします。）
※送料と代金引換手数料はお客様負担となります。

5 収納方法

① 気室内の空気を
完全に排気し、
平らに広げてください。

② 気室の上部を
折りたたみ、
マジックテープを
止めてください。

③ 右側気室を折りたたみ、
マジックテープを
止めてください。
その際、手動レバーの
握り部を気室の下から
出してください。

④ 左側も同じように
折りたたんで
ください。

6 お手入れ方法

1. カバー生地に汚れ及び海水による塩分等が付いた場合、自動膨張装置に水が入らないよう注意して真水で洗い流してから陰干しで十分乾燥させてください。
2. 汚れは、中性洗剤を含んだ布で軽く叩くようにして洗浄した後、真水で濡らした布で洗剤を拭き取り、陰干しで十分乾燥させてください。

⚠ 注意

●洗濯機洗い・もみ洗い・乾燥機やドライヤー、アイロン等での乾燥はしないでください。気室生地に亀裂が入る恐れがあります。
●漂白剤やシンナー、溶剤等の薬品は使用しないでください。また洗浄の際に自動膨張装置には水をかけないでください。自動膨張機能が作動する恐れがあります。
●丸洗いはなるべくしないでください。万が一丸洗いする時は、ガスボンベ及びスプールを取り外した状態で洗浄してください。ガスボンベ及びスプールの取り付け・取り外し方は本紙5〜6ページを参照してください。

⚠ 警告

自動膨張装置の接続金具は出荷時に正しい強さで取りつけています。絶対に取り外したり締め込んだりしないでください。正常に作動しなくなったり、ガスが漏れたりして重大な事故につながる恐れがあります。

7 保管方法

警告

次のような場所や条件での保管は絶対にしないでください。製品の劣化を早めたり、救命具として機能しなくなる恐れがあります。

●直射日光のあたる場所。●雨漏りする場所または多湿の場所。●ネズミや虫にかじられる恐れのある場所。●他の物の下敷きになる場所。●暖房装置の近くなど高温（40度以上）の場所。●車両内など高温多湿になる可能性のある場所で保管する場合は、必ずスプールカバーとスプールを外して保管してください。この場合、手動膨張となります。●燃料・溶剤などの近く。●無理に折り畳んでの保管。●濡れたままでの保管。●寒暖差の激しい場所。

8 買換え・修理の目安

《 ライフジャケット本体 》

●気室が破損している時　●空気注入バルブが破損している時　●カバー生地が破損している時
●ベルト・バックルが破損している時　●その他、製造会社が破損部を修理不可能と認めた時
●気室が変色している時

《 自動膨張装置 》ガスボンベ及びスプールは、以下のような場合に交換してください。

●救命胴衣を自動膨張装置で膨張させた時　●ガスボンベにサビ・キズがある時
●ガスボンベ、スプールのお買い上げ日から3年が経過した時
●その他、製造会社が破損部を修理不可能と認めた時

警告

改造は絶対にしないでください。特に気室を損傷させる恐れのあるワッペンやピンオンリール等は取り付けないでください。

注意

自動膨張装置が濡れた、または汚れた場合、必ず水分や付着物を拭き取り、常に清潔な状態にしてください。

9 定期点検チェックリスト

年に1回は必ず下表のチェックリストで点検してください。

総販売元を通じて定期点検（有償）することをおすすめします。

部 位	内 容	点検日
気室生地	・破れ、損傷、劣化、溶着剥れはないか ・補助送気管より呼気で気室を完全に膨張させて24時間放置後、圧力が抜けていないか（半年1回）	年　月　日
ベルト・バックル	・損傷、劣化はないか	年　月　日
反射テープ	・はがれや破損はないか	年　月　日
ホイッスル	・破損はないか ・音が出て、ひもでつながっているか	年　月　日
空気注入バルブ	・損傷、劣化、ひび割れ、緩み等はないか ・キャップが取り付けられているか ・呼気で正常に作動するか ・逆止弁が正常に作動するか	年　月　日
ガスボンベ	・重量を量り、147g以上あるか ・封板に穴が開いていないか ・自動膨張装置本体に緩みなく取り付けられているか ・損傷、サビ、劣化はないか	年　月　日
手動レバー	・手動レバーの握り部に破損、劣化はないか ・手動レバーの握り部が正しい位置にあるか ・緑色の留めピンが取り付けられているか	年　月　日
自動膨張装置	・手動レバーを引き針がスムーズに出るか ・ガスボンベとスプール交換日が3年以内か ・自動膨張機能確認箇所凸に約3mmの突起が出ているか ・撃針先端が損傷、摩耗していないか	年　月　日